

# 【R4】移住者と社会事業家のための、新しい支援体制構築(人とモノの両面から) (庄原市空き家解決専門家ネットワーク)

別添資料4

広島県庄原市の空き家問題を解決するために、庄原市民及び庄原市に物件を持つ全国の相談者（123人）を対象に、空き家の流通や利活用の相談（152回）やコンサルティング及び移住者の支援を行い、52件の空き家を流通させ、4件の空き家が利活用された。

## ■ 事業概要

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	広島県庄原市を主体とするも、全国を対象
背景・課題	①「空き家の解決」「社会事業の実施」という2つのニーズに対する支援がない。 ②行政の空き家バンクの限界 ・庄原市内の物件購入希望者は対象外 ・対象物件が少ない ・空き地は対応できない。 ・空き家の予備軍には対応できない。 ③空き家問題を解決する場合、各専門家がそれぞれ、同時に様々な事業行うので、情報共有と事務作業が多く、業務を圧迫している。
目的	・社会起業家を支援し、空き家の利活用を促進 ・行政版空き家バンクの課題を補うような民間版の空き家バンクの運営 ・移住希望者や空き家予備軍の掘り起こしによる空き家の流通と予防
連携する団体・役割	【後援団体】 広島県、庄原市、庄原商工会議所、庄原市社会福祉協議会、広島みどり信用金庫、広島銀行庄原支店 【専門家】 司法書士、宅建士、行政書士、大学教授、弁護士、土地家屋調査士、社会保険労務士、社会福祉士、税理士

### 1. 庄原創業塾による起業支援



### 2. 大学と連携し、空き家を中心とした地域全体の3D化



### 3. VR機能付き物件情報の掲載



対象物件（赤丸）周辺地域の3Dモデル 画像をクリックで3Dモデルを閲覧できます